

経済倶楽部便り

師の小泉悠氏、国際金融マーケット研究家の豊島逸夫氏、みずほ銀行チーフマーケット・エコノミストの唐鎌大輔氏を予定しています。

◆東京◆ 9月の講演会では毎年、防災関連の

◆中部◆ 夏休み明けの講演会は(一財)日本総

講演を企画していますが、今年は大雨などの異常気象に関連して気象予報士の佐々木恭子氏にご講演をお願いしました。話題の線状降水帯は風上側で積乱雲が次々と発生し、それが連なる結果起こりますが、その予測技術に関する話が分かりやすくされました。また、欧州の干ばつの背景、日本に影響大きい偏西風の蛇行と異常気象のメカニズムなど天気予報では知りえない情報が多い講演で、11月号に掲載されます。

合研究所会長の寺島実郎氏にお願いしました。毎回講演では多くの示唆に富んだ指摘をされていますが、今回は米中対立が喧しい状況にあるなかで実は米中貿易が逆に増えている点。その結果、海運では津軽海峡を通る日本海側ルートが太平洋側ルートより運航日数が2日短くなることから日本海側ルートがラッシュ状態にあるとの指摘は興味深いものでした。

11月の講師は神戸大学大学院教授の三品和広氏、東京大学先端科学技術研究センター専任講

11月の講師は東京財団政策研究所主席研究員の柯隆氏、米国弁護士湯浅卓氏を予定しています。

(日暮良一)